

## 様式8 自己点検評価報告書

①	基準 I-1	教育理念・目標・方針
---	--------	------------

### ◆評価基準

- ① 教育理念が明文化され、公表されている
- ② 教育目標が明文化され、公表されている
- ③ 学科・専攻ごとの教育方針が明文化され、公表されている

### ◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

### ◆自己点検評価結果の理由

学校の教育理念と教区方針は、HP やパンフレット、学生便覧に明記されている。教育目標
にちては、学生便覧に「本校の目的」として記載し、公表している。また、学科ごとの
教育方針は、HP 上に明文化し公表している。

### ◆自己点検評価結果における課題と対応

統一した形で公表するように改善する。

<b>②</b>	<b>基準Ⅱ-1</b>	<b>教員の要件</b>
----------	--------------	--------------

◆評価基準

- ① 指定規則に定める基準が遵守されている
- ② 専任教員は全員が協会員（JPTA・JAOT・JAS）である
- ③ 専任教員は全員が必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

専任教員は5名在籍の内訳は以下の通りある。
1：指定規則満たす。日本語聴覚士協会会員(1088)、教員等講習会※受講（H25年）
2：指定規則満たす。日本語聴覚士協会会員(8179)、教員免許取得
3：指定規則満たす。日本語聴覚士協会会員(9452)、教員等講習会受講（H30年）
4：指定規則満たす。日本語聴覚士協会会員(22499)、教員等講習会受講（未）
5：経験5年未満である。日本語聴覚士協会申請中（本年度6月より着任）
※理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会

◆自己点検評価結果における課題と対応

未加入の教員については、引継ぎ業務・研修等が終了した後に申請する予定となっている。
教員等講習会については順次参加を計画している。（平成30年度1名予定）

<b>③</b>	<b>基準Ⅱ-2</b>	<b>学科・専攻の長</b>
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① 学士またはそれに準ずる学識経験と教育経験を有する者である
- ② 修士以上の学位を有し、必要な教育・研修修了者である
- ③ 修士以上の学位を有し、10年以上の教育経験と必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

神戸学院大学大学院人間文化学研究科人間行動論専攻博士後期課程満期退学
平成18年より教員として従事している（通算10年以上）。
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設等教員講習会を終了している。（4462号）

◆自己点検評価結果における課題と対応

論文博士にて学位取得を目指す。
認定言語聴覚士の取得を目指す。

<b>④</b>	<b>基準Ⅱ-3</b>	<b>教員と教科目</b>
----------	--------------	---------------

◆評価基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 担当科目には、必要な教育・研修を修了した専任教員が適正配置されている
- ③ 指定規則の定数を超える専任教員が配置されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

専任教員は6月末時点で5名となっており、定数通りの配置となっている。
科目等に関してもガイドラインに則っている。
担当科目に関しては研修等で常に新しい知見を得た教員が配置されている。
また、法人内の経験豊富な言語聴覚士が1日／週で修業に携わってもらっている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

研修の種類や回数を増やして、授業にフィードバックできる環境整備を継続する。

<b>⑤</b>	<b>基準Ⅱ-4</b>	<b>教育環境の整備</b>
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 教育上必要な機械器具教材が適時、整備・更新されている
- ③ 最新の設備や機器等が適切に整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

標準的な機器類は整備している。
古い機種等は順次入れ替えを行っているが、まだすべて最新な状態には至っていない。
なお、改訂版については改訂年度もしくは翌年度には更新するようにしている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

予算化して年度単位でアップデートを行っている。

<b>⑥</b>	<b>基準Ⅱ-5</b>	<b>教員のための設備</b>
----------	--------------	-----------------

◆評価基準

- ①ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ②教員室（研究室）および個別指導の場が確保されている
- ③教員の教育内容に対応した実習・研究機材が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

必要な機器類の整備はできている。
個別指導ができる部屋を設けている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

研究機材においては、毎年の予算の中で検討し、順次整備する予定である。

<b>⑦</b>	<b>基準Ⅱ-6</b>	<b>教育のための予算</b>
----------	--------------	-----------------

◆評価基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 教育上必要な機械器具や図書購入予算が明示され、計画的に執行されている
- ③ 教員および学生の研修計画（予算）と支援体制が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

年間で図書の予算を設け、それぞれの学科に関連する書籍を購入できる体制を整備している
教務部長管理で計画的に進めている。
教育用の予算についても長期計画の中で計画的な購入を予定している。
学生の支援体制として法人内奨学金制度を設定している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

前年度に当該年度の研修等を申請するが、授業や実習関連（学生指導）で履行出来ない時に
変更が許されないため、結果的に全員が研修に参加できない場面があるため制度の整備を
行っていく。

<b>⑧</b>	<b>基準Ⅱ-7</b>	<b>教員の質向上</b>
----------	--------------	---------------

◆評価基準

- ① 教育・研究・研修規程、ハラスメント対策が整備され、公表されている
- ② 授業評価およびFD・SDが実施され、結果が公表されている
- ③ 教育の質向上に向けた研修・研究への積極的な取り組みが見られる

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育や研修、ハラスメント対策に関する規定は整備され一部を公表している。
授業評価、FDを実施しているが、公表されていない。
教育の質向上に向け、学科長による授業評価、学科間の意見交換、研修等の伝達講習を定期的に行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

教育や学生支援について公表が不十分である。今後、教員の質向上に向けた取り組みに加え、情報の公表までのシステムの見直しが必要である。

<b>⑨</b>	<b>基準Ⅲ-1</b>	<b>教育課程の内容</b>
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 定期的に関心カリキュラムの検討・見直しが行われている
- ③ 特色ある教育プログラムを有している

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

定期的に関心カリキュラム変更を実施して、臨床並びに国家試験に寄与する授業科目の提供を行っている。
関連施設から経験豊富な言語聴覚士に来てもらい授業を行ってもらっている。
失語症関連授業では実際の患者様に協力してもらい実際の症例の体験を実施している。
OSCEを導入している。
医療人としての考え方、接し方ができるような授業展開を実施している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

OSCEをより確立できるように努めていく。
国家試験の改訂に準じたカリキュラム展開を行う。
経営母体が医療法人であることを活かし、臨床教育の充実を図ることを特色としているが、指導者が多くなれば、教育の一貫性が行いにくくなる。そのため、学校教育と臨床教育のより充実した連携が必要となる。

⑩	基準Ⅲ-2	全体的配分
---	-------	-------

◆評価基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 講義概要・学生便覧が整備され、周知されている
- ③ カリキュラムツリーやマップ等を配し、分かり易く整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則に基づいた基準であり、講義概要・学生便覧は学生に周知している。
3年間で取得する科目や大まかな時間割り、カリキュラムツリー、3年間の学校生活についてはパンフレットで提示している。また、本校では一部の既習得を認める学生以外は、すべての科目を履修することになるので学校が提示した時間割に沿って授業や実習を進めている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

本校の教育目標との関係性の提示が不十分である。教育の一貫性と教員間の更なる連携が必要である。

<b>①</b>	<b>基準Ⅲ-3</b>	<b>入学者選考基準</b>
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① ガイドライン等に基づき、適正に行われている
- ② 入学者の公正な選抜実施と入学定員が遵守されている
- ③ 入学者選抜要項が整備され、公表されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

評価基準のすべてを満たしている。
具体的には選抜に関しては募集要項で明らかにし、試験の評価については採点基準に則り、
3名で客観的かつ公平に採点している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

最近の学生の傾向に合わせて入試内容を総合的知識を測る問題に変更している。
AO入試において、アドミッション・ポリシーと照らし合わせて審査を行うためには、本校が重視するポイントについて、十分な情報が得られるような課題の提示を検討する必要がある。

⑫	基準Ⅲ-4	教育方法
---	-------	------

◆評価基準

- ① 講義概要・学生便覧を遵守した教育が行われている
- ② 講義、演習、実習が効果的に組み合わせられている
- ③ 特色ある教育方法を取り入れている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

シラバスに準じての授業展開を実施しているが、教員（非常勤含む）の都合により、講義内容の変更等が見受けられるため、シラバス通り順守していると明言できない。
一部の授業に施設で働いている言語聴覚士、また障害者に来てもらい臨床現場のライブ感並びに、リハビリを受ける側の思いなどを伝えており、今覚えていることがどのような場面で生きてくるのか、またリハビリを行う者の心構えを教育している。
また、実際の患者様を招聘し訓練をさせてもらうなど触れ合う授業を行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

シラバスと実際の授業内容について、年度を追いつつ実態に近づけていく。

●	基準Ⅲ-5	学生の成績評価
---	-------	---------

◆評価基準

- ① 評価基準、方法を明記した文書がある
- ② 全体的能力を評価する基準を設けている
- ③ 進級・卒業要件に基づき、適正に行われている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

シラバスに評価基準を明記している。
進級・卒業要件を設けて周知しており、学科会議、学科長会議を経て運営会議で決定している。
全体的能力評価については個々の教員（非常勤含む）に委ねており明文化されていない。

◆自己点検評価結果における課題と対応

全体的能力評価についての実施について教務部長主導で策定していく。
進級・卒業判定において例外措置が必要な場合も、明文化しておく必要がある。

①	基準Ⅲ-6	臨床教育の内容
---	-------	---------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等に基づき、適正に行われている
- ② 客観的臨床能力試験（OSCE）が導入され、評価・単位認定を行っている
- ③ 先進的な教育プログラムを取り入れている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

演習科目において OSCE を取り入れ、評価を行っている。
実際の症例を招きかかわる機会を設けている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

OSCE に関してまだ演習授業の一部的な位置づけであるが、ここ数年で授業への割合
並びにバリエーションの増加させていく予定である。（平成 30 年度カリキュラム変更に伴い）
学習した知識を応用的に使えるよう課題解決型学習の導入を検討している。

15	基準Ⅲ-7	臨床実習の単位数、期間
----	-------	-------------

◆評価基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 臨床実習が効果的に配置（実施）されている
- ③ 新たな臨床実習への取り組みが見られる

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

実習指導者会議において、臨床実習の昨今について情報を提供し、より近代的な実習内容（例：クリニカル・クラークシップ）になるようお願いしている。
指定規則に定められた時間数の実習を実施している。
将来的に進む領域の実習施設を提供するように配慮を行っている。
可能な限り地元で実習できるような配慮を行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

まだ、一部の施設では高圧的な実習施設が見受けられるため、幾人かの学生が同様の評価を頂くようなことが継続されると思われた場合、明確な基準はまだ設けていないが学校側からも実習施設の評価を行い必要に応じて実習施設の見直しを行う。
実習指導者会議の参加率向上のため研修（講習会）などと抱き合わせをすることで、人数を増やし、先述の実習内容についても広く伝達していきたい。

16	基準Ⅲ-8	臨床実習施設との連携
----	-------	------------

◆評価基準

- ① 臨床実習指導者会議を開催し、議事録を保管している
- ② 臨床実習に際し、実習前後を含め密な連携を取っている
- ③ 臨床実習に専任教員が随時参加し、指導している

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

臨床実習指導者会議を年1回行っている。（例年3月の第1土曜日）
新規実習並びに臨床実習においてなにかしら問題があった実習施設に関しては、定期的な実習地訪問以外に必要なに応じて訪問を行い、内容のすり合わせ並びに評価の経緯・検証を行っている。
一方で、教員数の関係上実習に随時動向することは行えていない。
現状では実習開始後、問題がなければ学生指導を実習指導者に概ね任せてしまっている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

現在では指導者側からの連絡から緊急の訪問などを実施している。
一方で、学生発信での対応体制については個別レベルでは整えつつあるも、まだ、臨床実習指導者会議、並びに学生に周知できておらず、システムとして確立していないので、次年度の実習で周知を行う。

⑩	基準Ⅲ-9	臨床実習施設に関する事項
---	-------	--------------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 各障害・病期・年齢層を偏りなく経験できる実習施設が確保されている
- ③ 協会認定、または「病院機能評価」等の施設が半数以上確保されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

臨床実習施設の中の医療施設で「病院機能評価」の認定を受けている施設は基準以下である。
施設については成人施設過多であり、バランスとして小児施設の割合が少ない。
実習施設で複数の領域があるところでは、学生の領域のバランスが取れるような配慮を お願いしている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

小児の施設並びに老人保健施設の実習地の割合を増加させ実習施設のアンバランスさに 対して整備していく。
実習施設に報告し、症例の偏りが少なくなるようお願いしている。

18	基準Ⅲ-10	臨床実習指導者
----	--------	---------

◆評価基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 指導者は全員が5年以上の臨床業務従事者である
- ③ 必要な教育・研修修了者が全実習指導者の20%以上を占める

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指導者は全員が5年以上の臨床業務従事者であり、ガイドラインに則っている。
各学生が1人当たり320時間以上の医療施設においての実習になるように配慮している。
指導者の教育・研修等を終了している割合はまだ数名程度である。

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後、実習指導者に教育・研修等についての受講の重要性を伝え、斡旋を行う。

④	基準IV-1	教育成果
---	--------	------

◆評価基準

- ① 教育成果向上のための取り組みがなされている
- ② 学業達成率が80%以上である
- ③ 新卒者の国家試験合格率が全国平均以上である（過去3年間の平均値）

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

土曜日の開校、平日の夜の指導（～22：00）を行っている。
学業達成率は73%である。
国家試験の過去3年の平均は74.40%であり、当該期間の全国平均（74.27%）以上である。
※評価対象の1年度のみ大きく平均を下回ったため、3年間の全国平均がほぼ同じ程度になっているが、過去5年で全国平均を下回ったのは

◆自己点検評価結果における課題と対応

年度によりばらつきを認めるため安定した学業達成率並びに国家試験の合格率を確保していく。
学業達成に関しては、補講等を充実させ進級率を向上させ、退学・留年を阻止する。
国家試験に関しては、土日の開校を行い学生が学校をより多く利用できる環境整備を行い、併せて指導時間の増加を計画する。

④	基準V-1	社会貢献
---	-------	------

◆評価基準

- a. 自治体事業への協力
- b. 地域住民への貢献
- c. 学生ボランティアへの支援
- d. 士会・協会活動への協力

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない→a+b+c+d（0～5件）
- 2：基準を概ね満たしている→a+b+c+d（6～15件）
- ③：基準を全て満たしている→a+b+c+d（16件以上）

◆自己点検評価結果の理由

a.：地域の高等学校への授業（ガイダンス含む）5件以上、市との共同研究1件
b.：公開講座の実施
c.：地域・施設への案内を掲示並びに斡旋5件以上
d.：協会関係：代議員2名、県士会関係：理事2名、事務局長1名
（個々の詳細は様式7 社会貢献に記した）
詳細は別紙ご参照ください。

◆自己点検評価結果における課題と対応

多くの学生または全教職員が、これらの社会貢献に参加できるよう教員全員が情報を共有し、学生への情報提供の充実を図りたいと考える。